

臨床研究の情報公開

研究課題名	適応限定した直腸S状部および上部直腸癌に対する腹腔鏡手術成績の検討
研究機関	弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座
研究概要	<p>大腸癌患者に対して手術治療は治癒を目指すための唯一の方法です。手術は出血、疼痛を伴い、少なからず合併症が発症しています。その改善のために手術治療方法の改良を重ねる必要があります。当科では精緻な手術手技が可能で、手術の質が向上し、患者さんの病状の回復に寄与するという観点から腹腔鏡手術を導入してきました。全国的な腹腔鏡手術の有効性を検討した臨床試験 JCOG0404 では、進行大腸癌に対する腹腔鏡手術は開腹手術と同様な長期成績により、治療選択肢として受容されることが示されており、一方、その試験において、直腸 S 状部結腸に位置する大腸癌で腹腔鏡手術の予後が不良となる可能性が示唆されました。そこで、直腸 S 状部癌の手術手技が類似する、腫瘍下縁が直腸 S 状部か上部直腸の直腸癌を対象に、開腹と腹腔鏡手術について当科での治療成績を比較検討し、腹腔鏡手術の質を検証する必要があります。当科の腹腔鏡手術における大腸癌手術の短期、長期成績を調べ、安全性および有効性の評価を行うことが目的です。</p>
実施期間	倫理委員会承認日から平成 28 年 12 月 31 日まで
対象者	弘前大学消化器外科で 2004 年から 2015 年に直腸 S 状部および上部直腸癌に対し他臓器合併切除、ハルトマン手術例を除いた pStageI、II、III の患者さん 228 例が対象です。
実施方法	患者さんへ介入を行わない既存情報を使用する研究です。既存情報は診療録を利用し、患者背景（年齢、性別など）、直腸癌の臨床病理所見、術式、合併症などの手術関連情報、再発、予後などの術後情報を使用します。患者個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。
参加撤回の自由	患者さんが解析対象となることを望まない場合、研究対象から除外しますので担当医師や下記に御連絡ください。その場合、当科での診療において何ら不利益を受けません。
問い合わせ先	<p>研究計画書や研究の方法に関する資料などの閲覧希望、研究についての疑問などの問い合わせは下記にご連絡ください。</p> <p>研究実施責任者：三浦 卓也（みうら たくや） あて先：〒036-8562 弘前市在府町 5 弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 電 話：0172-39-5079（講座直通）</p>

	F A X : 0172-39-5080 (講座直通)
--	-----------------------------

	メール : tmiura@hirosaki-u.ac.jp
--	--